

## 【目次】(提出順)

雨宮	加奈	-----	p. 2
石川	祐太郎	-----	p. 2
朝倉	美衣	-----	p. 3
靱山	彩芳	-----	p. 3
鷺	桃子	-----	p. 4
吉田	裕伴	-----	p. 5
唐鎌	千浩	-----	p. 5
佐藤	浩介	-----	p. 6
狩野	智美	-----	p. 7
久保	達也	-----	p. 7
森下	文望	-----	p. 8
関根	賢人	-----	p. 9
上水	智瑛	-----	p. 9
渡邊	浩信	-----	p.10
井出	実	-----	p.10
馬場	優	-----	p.11
池田	彩香	-----	p.11
河野	亮	-----	p.12
青木	美緒	-----	p.12

## 大学生活を振り返って

雨宮 加奈

大学生活を振り返ってみて、藤井ゼミにはいって本当に良かったと思っています。もともとPCを使うことが好きで選んだゼミでしたが、就職活動や卒論に取り組む過程で、藤井ゼミで良かったといつも思っていました。それは、常に一生懸命指導してくれる藤井先生のおかげで、ゼミでの活動を自信をもって伝えることができるからです。

卒論では、他ゼミより早い段階から、「何千字まで書く」といったきまりをつくってくださったおかげで、最後のほうに焦って書くということもなく、無事提出することができました。しかし、何度も卒論をやめようと思いました。自由になりたいと思いましたが、終わってみると最後まで頑張った良かった、と心から思います。

就職活動は、私は「質より量」で、ひたすら活動していました。SPIの勉強もエントリーシートの添削も、面接の練習も、何もしていません。ただ、ありのままの自分をみてもらうことだけ考えていました。

そして、就職活動は「企業との縁」と言いますが、就職活動を終えて本当にそう思いました。OBの方々と自分の雰囲気が違うなどと思った企業では、面接で手ごたえがあっても、不合格なこともありました。なので、何社落ちても最後まで諦めずに、自分と縁のある企業と出会うまで頑張ってください。

私は、国際経済学科のゼミで1番仲良しと言われるゼミにはいって、大学生活をおくれて本当に良かったです★

皆さんも、残りの大学生活を悔いの残らぬよう、精一杯楽しんでください!!

## 大学生活

石川 祐太郎

私は大学での4年間で、何かしら勉学に励んだかと聞かれたらその答えはノーです。勉強らしいことはほとんどしませんでした。ただ、ゼミでの調査活動は一生懸命に取り組みました。これは、この藤井ゼミにかけがえのない仲間がいたからです。その仲間たちと協力し、一つの目標に向かって努力することが楽しかったのです。

楽しく自由であった学生生活にももう幕が閉じようとしています。振り返ると不思議と楽しかったことしか思い浮かばないものです。テストや就活など、辛く苦しい日々もありましたが、今になって思うと全てが良い思い出です。このように良い思い出ばかりになったのは、そんなとき支えてくれる大切な仲間がいたからこそだと思います。

4月から社会人としての新生活が始まりますが、このゼミでの経験があったから、信頼できる仲間ができたから、私は新たな一歩を力強く踏み出せそうです。

みなさんも、学生のうちに一生付き合える仲間を作ってください。それはこれからの人

生できっと、かけがえのない宝物になるはずです。

最後に、これから就活等大変になると思いますが、どんなときでも自分のペースを忘れずにいてください。そして、辛いことなども全て楽しむつもりで臨んでください。そうすれば結果は良い方向へ行きます。ペースと体調を崩さず、残りの生活を楽しんでください。

### 朝倉 美衣

2年生の時に藤井ゼミに入り、あっという間に3年間で過ぎていきました。藤井ゼミで多くのことを学び、自分の力にすることが出来ました。2年、3年の合同ゼミの準備や、3年生の夏に取り組んだ共同論文は、本当に辛かったですが、資料の収集方法やデータのまとめ方、文章の書き方など、すべて卒業論文の執筆に大変役に立ちました。また、合同ゼミにおいて、相手に自分の伝えたいことをプレゼンする練習も出来たため、就職活動では面接時に活かすことが出来ました。

就職活動は、3年生の10月から、学校のキャリアセンターによる講座に参加しながら始めていきました。その中で自己分析が大事という言葉は何度も耳にしてきましたが、始めは、頭の中だけで自己分析をしていて、自分なりに出来ていると思いこんでいました。しかし、3年生の3月頃から面接をする回数が増えていきましたが、なかなか先に進めませんでした。この原因は、自己分析がきちんと出来ていなかったことにありました。頭の中で考えていただけだったので、面接において志望動機や自己PRを言う際に説得力に欠けていたのです。きちんとノートに書きながら分析していくと、考えがまとまっていき、今まで気づかなかったことがみえてきました。

また就職活動において「友人」は、内定獲得への鍵だと思います。私の自己分析の不十分さに気が付いたのは、学校で友人とお互いの就活状況を話していた時でした。どんなに就職活動で忙しくなり、なかなか授業に出席することが難しくなっても、時間がある限り、友人と話しに学校へ行きました。これは、ストレスの発散にもなりましたし、皆頑張っているのだという励みにもなりました。そして、就職活動に関する情報交換の場でもありました。これは就職活動をしている中でとても有効でした。

藤井ゼミでは勉強だけでなく、合宿、飲み会があり、他のゼミの友人からは皆仲良しだよねと言われます。勉強以外の大切なこともたくさん学べ、思い出も出来て、とても充実していました。1年生の時に2年ゼミを選択する際にどのゼミにしようか、とても悩みましたが、このゼミを選択して本当に良かったと思います。皆さんも就職活動、卒論大変なことがたくさんあると思いますが、それらは、頑張った分後に必ず良い思い出となります。学生生活後悔しないように頑張ってください。

### 靱山 彩芳

2年、3年、4年と3年間藤井ゼミをやってきて、最初のゼミ討論から挫けそうでした。1年生の時は、レポートだけでしたが、ゼミに入り、調べることもたくさん増えたし、準備も大変だったことを覚えています。

それから違う大学の方々とも、討論しました。私はグループのリーダーになりましたが何一つリーダーらしいことは、出来ませんでした。だけど、みんなであの形にまで作り上げられたので、良かったと思います。地域発展や観光について調べるだけだから、簡単だろうと思っていましたが、そんなことはなかったです。細かいことまで調べる大変さを知りました。発表の時も、偉い人たちが来て、すごい緊張しました。私は、就活をしていないからわかりませんが、就活にはあの緊張感や話し方、説明の仕方、相手に伝えたいことをどのように伝えるかなど、すごい役に立ったのではないかと思います。

4年生になって、卒論を書けるか正直不安でした。2万字以上なんて全然書いたことないし、想像もつかなくて、テーマもなんとなくこれでいいかなという曖昧な気持ちで決めちゃったので、本当に最後までやりきれない自信がありませんでした。夏合宿の時も、先生には図表しか見せられなくて、しかもそれは、インターネットから引用してきただけだったし、12月に終わるのか、それとも、夏合宿を最後にゼミを終わらせるか、とっても悩んでいました。

だけど、みんなも一生懸命にやっていたし、何よりみんなは就活で忙しい中、時間を割いてまで頑張っていたのを見ていたので、私も頑張らなくちゃという気持ちになりました。本当に完成するのがギリギリで、提出時間の1時間前なのに、先生の部屋で何人かですごい焦ってやっていたのも、今じゃ笑える話になって、ホッとしています。先生には、とても感謝しています。これから、卒論みたいにあんな大量に文字をタイプすることは、もうないと思いますが、もう1回書けと言われてたら無理です(笑)

とりあえずでも、ちゃんと標本に挟んで卒論を出せたので、達成感もあったし、やって良かったなって思いました。

先生！3年間、お世話になりました！！卒論の単位が取れていることを祈るばかりです！

## 鷺 桃子

私は、みんなより少し遅く、3年の春学期から藤井ゼミに入りました。藤井ゼミはみんな仲が良く、仲間に入れるか不安でいっぱいでした。しかし、みんな本当に良くしてくれたので、すぐに仲良くなれました。合宿や、合同ゼミや普段の活動を通して、藤井ゼミに入って本当によかった、と心から思っています。

就職活動については、とても辛い時期もありましたが、今思えば良い経験でした。何社も落ち、くじけそうになったこともあります。私は就職活動を始めるときからやりたい職業が決まっていたので、絶対に諦めませんでした。その諦めなかったことが結果につながったと思っています。だからみなさんも、絶対に諦めないでください。家族や周りの友人に相談したり、話を聞いたりするのもいい刺激になると思います。

卒業論文は、藤井先生にたくさん助けてもらいました。文章を書くことが苦手な私は、「2万字以上なんて書けない。」と思っていましたが、藤井先生にアドバイスを頂けたので、なんとか書くことができました。毎日コツコツ書いていくことが、卒業論文の秘訣だと思います。

最後に、学生生活、思いっきり楽しんでください！

## 3年間のゼミを通じて

吉田 裕伴

まず、3年間本当に早く終わってしまったように感じます。ゼミに入りグループに分かれて企業研究や JAPAN ブランドについての研究を通して大きなことを学ばせていただきました。それまで大学生活の勉学面で何一つ胸を張って頑張ったといえるものもなく、ただ単位をとるための勉強でした。しかし JAPAN ブランドの研究のときは心の底からこの事業について詳しく知りたいと強く思い本気で研究することができました。その結果発表会当日に私たちのグループの研究結果を審査員の方々から優秀だったといわれたときは本当にうれしかったです。

このゼミでの研究はやればやるほど、自分の力になるものばかりです。先生は私たちの行動力に任せてくれます。ひとつひとつの研究に全力を注ぐことをお勧めします！

最後に、本当に最高の仲間と出会えたゼミでした。3年間ゼミの授業や飲み会、みんなでいる時間が心の底から楽しかったです。卒業をしても、またみんなが集まって大学時代の話をして笑ってほしいですね。その時は先生もご一緒をお願いします。

唐鎌 千浩

時が経つのも早く、気が付けば残り約 2 ヶ月で卒業になりました。そこで大学生活でやってきた 3 つのことについて簡潔ではありますが振り返ってみたいと思います。

### アルバイト

地元の居酒屋で大学一年次からアルバイトを始めました。学生でありながら大学へ行くよりアルバイト先にいたことの方が多かったかもしれません。接客のアルバイトを通じて、お金を稼ぐことの大変さや人と話すことの面白さを学びました。

### 就職活動

大学生活の中で一番苦戦し、その分一番成長できたと思います。周りが就職活動を始めたことに影響され、私も 3 年次の 10 月から始めたのですが、思ったように結果が出ず何度もどん底を見ました。そんな時にはゼミのみんなで飲みに行きお互いを励まし合い、前を向いて頑張ってきました。その諦めない結果が内定という二文字を獲得する結果となりました。みんな本当にありがとう！！

### 卒業論文

藤井ゼミは他のゼミよりも卒業論文への取り掛かりが比較的早く、余裕をもって始めることができました。その反面、就職活動と被ってしまうこともあり何度も止めてしまおうと思ったことを今でも覚えています。しかし、卒業論文が完成し提出した時、「本当に諦めずにやってよかった」と心から思えた瞬間でした。

私自身、大学生活 4 年間を通じて特別なことは 1 つもしてきていません。どちらかと言うと「ダメ学生」に分類されると思います。しかし、大学生活で藤井ゼミに在籍し、その中で仲間に出会えたことは本当に胸の張れることですし誇りだと思っています。アドバイスできる立場ではない私ですが、1 つだけ「いい仲間を持ち、後悔しない大学生活を送ってほしい」それだけは言いたいです。

藤井ゼミに在籍して 3 年間、藤井先生並びにゼミのみんな本当にありがとうございました。

## 大学生活を経て

佐藤 浩介

まず初めに思ったことは、この大学 4 年間というのはとても短いものだなと感じたことです。特に、この藤井ゼミに入ってから 3 年間は本当に短いものでした。それは、ちょっと厳しめだけど、僕たちのことをしっかり考えてくれている藤井先生といういい先生に出会えたこと、みんなが仲良く、お酒も大好きで本当に楽しい仲間たちに出会えたからだと思います。

就職活動は、一切不安もなく、強気で攻め続け、早めに何社か内定を頂き自分の納得のいく会社に決めることができました。それも、大学生活で経験したことが大きな要因だと感じました。今現在就職活動をしている後輩の皆さんは、これから忙しく大変な時期になうと思いますが、自分を見失わず、自信をもって、強気でがんばってください。

卒業論文に関しては、先生からダメ出しの嵐でした。なにくそ精神でがんばっていましたが、それでも先生が丁寧にわかりやすく教えてくれたので、何とか形にすることができました。卒論を終えて気づいたこと…準備は早めに！そして、めんどくさがらずに早めに手を付けること！これに尽きると思います。

藤井先生、授業中いつもうるさくて、生意気なことばかり言ってすいませんでした…それでも、先生と藤井ゼミの授業は本当に楽しかったです。これからも厳しめだけとお茶目な先生でいてください。卒業して遊びに行った時は、また一緒にお酒を飲みましょう！ありがとうございました！

ゼミのみんな！大学生活で、こんなに面白いやつらと出会うとは思わなかった！最高だ！大学生活以外でも、プライベートで遊びに行ったり、酒はよく飲んだな！これから社会人になって会う時間も少なくなると思うけど、お互い一回りも二回りも大きくなって酒でも飲もう！

後輩のみんなは、絶対に後悔しない大学生活を、楽しい大学生活を送ってください！

本当に皆さんありがとうございました！

## ゼミと、就活の感想

狩野 智美

一言で、とても楽しいゼミでした。

大学はとても規模が大きくて、クラスもないので正直あまり深く付き合える友達が出来ないなと思っていましたが、ゼミは3年間ほとんど同じメンバーで良い関係が築けたと思います。2年生の時は、excelと基本的な情報収集力を学びました。また、2年3年通して、仲間とのコミュニケーション能力（グループで作業を行うため）や、人前で発表するプレゼンテーション能力が身に付いたと思います。ゼミ内だけでなく、他ゼミとの合同プレゼンテーション、他大学との合同プレゼンテーションもとても為になりました。

毎年夏に行く、藤井ゼミ全学年での合宿も凄く良い思い出です。楽しい大学生活での思い出になりました。4年では、卒論に集中することが出来、しっかりと段階を踏んで、着実に少しずつ進めることが出来ました。藤井ゼミでは卒論が必須だったので、曖昧にせず、真面目に取り組めました。

就活は、年明けから始め、パソコンや携帯での情報収集がいかに大事か思い知らされました。中小企業でも、瞬時に説明会は満席でした。周りの友達は、携帯でパソコン（インターネット）が見られるスマートフォンに替えていました。その位、厳しい年だったと思います。私はあまり業界を絞らずに興味がある企業を数社受けました。アパレルから、食品からサービスから出版まで幅広かったと思います。説明会は十数社、選考へ進んだのは10社未満で、6、7社目で内定を頂きました。5月でした。

私は高校1年生の時から、マクドナルドで約6年働いており、マネージャーとしてお店を任されています。内定を頂いたのは株式会社すかいらくで、そのアルバイトの経験を買って下さったと思います。学生時代してきたことが何らかの形で必ず就活に響いてくるのだと感じました。また、ほとんどの会社がインターネット上でのエントリーシート提出を求めています。私はそういう企業は受けませんでした。手書きで、郵送の企業のみを受け、本当に自分を知ってもらえ、必要としてもらえる企業を選んで頂けたと思っています。就活は人それぞれです。ゼミの後輩にも、人と比べず、自分のペースで納得のいく企業へ内定がもらえることを祈っています。

## 3年間のゼミを通して

久保 達也

大学生活を振り返ってみると、月日が流れるのがとても早かった気がします。その中で藤井ゼミでの3年間は、とても充実したものになったと感じています。思い出に残ってい

るのが日本統計協会に提出した懸賞論文です。朝倉さんと協力して作成したもので、当時は期限に追われ、先生から何度も注意を受けましたが、結果として審査員特別賞をいただいたことは、自分の中でとても大きな財産になりました。

藤井ゼミに所属し、レポート作成や卒論作成などを通じて一番学んだことは、自分から動かなければ良いものは作れないということです。物事を受け身に捉えず、積極的に動いていくことが大事だと身をもって感じました。特に、卒業論文はそれが大きく関わってくると思います。卒業論文を書き始める時期は就職活動などで忙しいので、なかなか卒業論文まで手が回らないかと思えます。しかし、忙しいのを理由にしていると、卒業論文に手が回らないまま4年生の秋を迎えることになってしまいます。実際、4年生になって時間が経つのはあっという間でした。そこで役に立ったのが、夏休みに集めた資料でした。よく藤井先生が自分の足で調べなさいとおっしゃっていますが、まさにその通りだと思います。また、わからないことがあれば、どんどん藤井先生に質問することをお勧めします。

就職活動に卒業論文の作成と、4年生になると忙しい時期が増えると思います。しかし、一番充実した年になると思いますので、忙しいながらも楽しむことを忘れないでください。大学生最後の年に良い思い出ができるよう頑張ってください。

## 大学生活を振り返って

### 森下 文望

私の大学生活4年間はとても楽しく過ごすことができました。その中でも藤井ゼミで過ごした3年間はとても良い思い出です。私は大学の授業を受けていても、なかなか興味を持てることがなく、ただ受けてれば良いと思っていました。でも、2年生の時に入った藤井ゼミでは、ただ受けるだけではなく、自分の身になるようにしっかり受けると決め取り組みました。ゼミは仲間はとても明るくて、仲が良く充実した3年間を過ごすことができました。

また、大学4年間の中で一番苦勞したことは就職活動です。私は、やる気が人一倍あっても行動に移すことがうまくできませんでした。考えていること、思っていることをうまく相手に伝えることが難しかったです。自分の今までやってきたこと、学んできたことを振り返ることは、何度やり直しても考えさせられることでした。でも、今思うと就職活動は新たな人との出会いだと思います。考え方は人それぞれですが、新たな発見や出会いがあるとせば楽しめるのではないかと思います。

これから就職活動が本格的になってくると思いますが、今からでもやっておくと良いと思うことは、小さなことでも思ったこと、考えたことをメモ書きして残しておくことが良いと思います。あと、人とたくさん話して、話をすることに慣れておくことが良いと思います。

4年間は思っている以上に短く感じます。就職活動も大切ですが、大学生としていられるのは今だけです。あまり肩に力を入れ過ぎず、遊ぶ時は遊んで、後悔することがないように大学生活を楽しんで下さい!!



## ゼミ活動と就職活動を終えて

### 関根 賢人

大学生活を振り返ってみると、ゼミ活動は大学生活の中で最も打ち込んだことだと思います。ゼミに入った当初は藤井先生が厳しくて授業についていくのがやっとでしたが、自分なりに一生懸命やっていくことで身に付くことがたくさんありました。苦手だったプレゼンテーションも少しは克服でき、起承転結の思考も養うことができました。これらのことはこれから社会人になっていくために必要不可欠なことです。今、考えてみるとこのゼミで頑張ってきて本当に良かったなと改めて思います。

藤井先生はとても物知りです。知らないことはないくらい物知りです。何を聞いても詳しく答えてくれます。それは研究室の本の量を見たときに改めて実感しました。あの本の量には驚きましたが、そのため部屋の狭さが難点です。それと藤井先生はお酒が大好きです。4年生のゼミ合宿のとき、海の家と一緒にビールを飲んだことが一番印象に残っています。あのときはごちそうさまでした。

ゼミのメンバーにも恵まれて、ゼミのときは毎回楽しく過ごせました。授業中はたまに騒がしくて藤井先生が怒鳴っていましたが、それも今となっては良い思い出です。3年間、藤井ゼミの一員でいられたことを心から嬉しく思います。

就職活動は正直に言うと辛かったです。先が見えないで不安ななか、頼れるのは自分自身です。挫折しそうになったときがたくさんありましたが、自分を信じることが一番大切だと感じました。業界研究や企業研究、SPI や面接対策をやるのは当たり前のことであって、それらをいかに自分自身の自信に繋げるかどうかが重要です。自分自身が思う通りに行動していけば必ず良い結果が付いてくると思います。改めて就職活動は辛かったことがたくさんありましたが、終わってみると自己成長できて良い経験になったと実感しています。

### 上水 智瑛

大学生活 4 年間は、今振り返るととても充実していて、時間が過ぎるのが早かったように感じます。

就職活動では、面接等で結果が出ないと自分が否定されたようで辛く、逃げ出したいくなることもありましたが、自分と向き合ういい機会になったと強く感じています。皆さんも、つまづくこともあると思いますが、諦めずに自分に合った企業探しを頑張ってください。また、うまくいかない時は少し休むことも大事だと思います。

卒業論文に関しては、とにかく早め早めに取り組むことだと思います。私の場合は、取り組み始めたのは早くても、途中でやる気を失ってしまい、最後はいくら指定の文字数を書けても、もっと時間があればこう出来たと後悔が残ってしまいました。また、迷った時は先生に見て頂くとの的確なアドバイスをして下さるので、全員の卒論を見て下さる先生が忙しくならないうちに、早めの段階から何度も見せに行くといいと思います。

3年間のゼミを通して、他大学ゼミとのプレゼン・ディベートなど、とても貴重な経験を

することが出来、自分の成長につながったと思います。また大切な仲間が出来、ゼミのおかげで大学生活を充実させることが出来たと強く感じています。

これからは、社会に出て今まで学んできたことを大いに発揮できるよう、頑張っていきたいと思っています。

皆さんも、遊びも勉強も就職活動も一生懸命取り組んで、ぜひ卒業までの学生生活を充実させて下さい。

## 就職活動を終えて

### 渡邊 浩信

私は東洋大学で4年間、I部体育会卓球部を続けてきました。そこでは上下関係はもちろんのこと、挨拶、礼儀、色々な方とコミュニケーションを取ることの大切さなどたくさんを学べたと思います。大学3年生の時には副主将を務め、幹部になることへの責任感を感じ、4年生では主将を任せられ、チームを任せられた事のプレッシャーや不安で何回も主将を交代したいとも思いました。しかし、監督・コーチ・OB・OGの皆様の支えがあり、主将らしくチームを一つに纏めることが出来ました。部活動や主将を経験したことは自分にとって、とてもプラスになり、就職活動をしている時に自分の強みや長所などが理解でき、面接の時には自信を持って望めたと思います。また、緊張はしていても自分に嘘をつかずに思った事を言うことで、詰まることなく変に印象は悪くはなかったと思います。

それから、やはり自分一人で就職活動に没頭していても息詰まることが多くなり、焦る気持ちでいっぱいになってしまうので、ゼミの仲間や学部の仲間と情報交換する事によってお互いのプラスに繋がり、新しい考え方など視野が広がると感じました。大学で学んだ色々な経験を活かして、社会にでても一生懸命努力し頑張っていきたいと思っています。

### 井出 実

藤井ゼミに入って今日まで先生に怒られてばかり。それでも卒論提出まで面倒みてくれたことに感謝です。先生は厳しいですがちゃんと指導してくれます。

ゼミ合宿でみんな課題をやり、そして飲んで、今思えば授業も楽しいことだらけでした。課題は嫌でしたが、みんながいたから乗り越えられたと思います。

就職活動で私が言えることは、自分らしさを失わないこと。大切なのは入りたい企業のために思ってもいないことを言わないことだと思います。それで内定をもらえても、あとで後悔するのは自分です。

みんなと同じリクルートスーツを着て就活するのが嫌で、アパレルしか受けていない私が言えるのはこれくらいですが、自分を信じて頑張ってください。

卒論も何度も挫折しそうになりましたが、今ではやってよかったと思います。

最後に就活と卒論を頑張った自分にご褒美を！ 大学生活最後に思いっきり遊んでください！

## 3年間のゼミで感じた事

馬場 優

藤井ゼミで過ごした大学3年間を振り返ってみると「あっという間だったなあ」というのが、私の素直な印象です。それほど充実した3年間でもあり、自分自身の成長に大きく影響を与えてくれたのが、この藤井ゼミでした。毎時間の授業でパソコンの技術を学び、渡辺ゼミや他大学とのプレゼンやディベートを通し、自分の意見や想いを相手に伝える事の難しさや面白さを知りました。プレゼンやディベートで培った、自分の想いをアウトプットする力、そして度胸で就活を乗り切りました。卒業論文を執筆する事によって、本気で物事に取り組み、形にすることの達成感を学びました。このゼミでは、本当に多くの事を学ばせてもらいました。そして今だからこそ笑って話せますが2年の時、まだゼミに対する考え方が未熟だった私は、藤井先生と喧嘩し、ゼミを辞めようかと本気で考えた時期がありました。しかし、そんな時に私を引き止め、また頑張ろうと支えてくれる仲間の存在があったからこそ、こうして笑って3年間を過ごすことが出来たのだと思います。

3年間を共に過ごし、授業や就職活動において自分を支えてくれたゼミの仲間、時に厳しく、時に優しく親身になって指導して下さった藤井先生には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。人は人と関わる事で成長出来るという事、人の絆の強さや大切さを学ぶことが出来たこの三年間は、私の人生の宝物です。ありがとう、藤井ゼミ！！

## 大学生活

池田 彩香

私の大学生活は、ゼミによって更に充実したと思います。それは、素敵な仲間にも恵まれたことと、自ら考えて答えを導くトレーニングをしてもらえたからです。私は、3年生から藤井ゼミに入りました。1年間の遅れをとってもゼミの皆が仲間として接してくれました。学習面では、自分の思考力のなさや、情報力のなさも身にしみて味わいました。大変だと思う中、やりがいを感じたのは卒論を始めた時でした。3年生でレポートを作成し、グラフを作ったり、多方面から考えることが意味のあるものなのかと自分自身の中で問う時もありました。しかしそれが、卒論に結びついた時には、とても嬉しかったし、やってきてよかったと思えました。何事にも意味があるのだと学び、後輩には、その1つ1つのステップを無駄にせず、最後までやり遂げて欲しいと思います。

就職活動においては、自己を見つめなおす良い機会でした。また、周りの友達とも一緒に成長出来る機会でもありました。就職活動は個人の問題であるためとても孤独でした。しかし、選考に落ちても周りの友達が励ましてくれたりすると更に頑張ろうという気持ち

にもなれたので、友達なしでは乗り越えられなかったのではないかなと思います。

また、わかっているようでわかっていない本当の自分は、就職活動のような機会がないとなかなか知ることができないのではないかなと思います。自分自身がどんな人間でどのように社会に出て行きたいのかという課題は、誰にでもあると思います。また、経済不況という中でしたが、その厳しさを身にしみて感じたこともとても良い経験でした。

大変なことや自分から現実逃避せず、それを全うすれば結果がついてきます。そして充実したといえると思います。大学生活は、自分が動かなくては何も始まりません。どんな名門に通っても中身がなくては意味がありません。その場その場で行き当たりばったりではなく、自分が何をしたいかという中身が大事だと思いました。その中身で就職活動も変わってくるのではないのでしょうか。

藤井ゼミに入って、学ぶことが沢山ありました。皆さんも沢山学び、沢山楽しんでください。

## 河野 亮

藤井ゼミでの3年間はあっという間でした。2、3年次のディベートや4年次の卒業論文など苦しいことも、いくつもありましたが、本当に楽しい3年間でこのゼミに入って良かったと、いまつくづく思います。それもこれもゼミの仲間にも恵まれたからだだと思います。団体競技をしている人はよく分かると思いますが、仲間という物は本当に大切です。同じゼミの人は、大学にいる何千という人の中から偶然の出会いだと思います。そんな人たちとの出会いを大切にしてください。大学生活 なんてものは一瞬で過ぎて行きます。一日一日を悔いの無いようにしっかり楽しく過ごしてください。

## 青木美緒

大学2年から始まった藤井ゼミがもう終わりかと思うと寂しい気持ちでいっぱいです。

藤井ゼミで印象に残っているのは初めての合同ゼミと卒業論文です。渡辺ゼミとの合同ゼミに向けて、グループのメンバーと一緒に国会図書館へ調べに行き、スライドを作って、発表の練習。そして先生にたくさん指摘され落ち込む日々。藤井ゼミって大変だな、とこの時初めて実感しました。懐かしいです。

卒業論文では、先生にチェックしてもらう度に指摘され、投げ出したくなることもありましたが、卒業論文を無事提出してからは、開放感と共に大きな達成感を得ることができました。

このように振り返ってみると、合同ゼミや卒業論文を最後まで投げ出さずに取り組むことができたのは、先生とゼミの仲間がいたからだだと思います。藤井ゼミで過ごした3年間は、私にとってたくさんのことを学ぶことができた貴重なものになりました。3年間、本当にありがとうございました！

就職活動に関して簡単に言うならば、「諦めないこと」が一番重要だと思います。私は3年の11月頃から就職活動を始めましたが、今振り返ってみると、3月までは合同説明会や筆記試験に「とりあえず」参加、という曖昧なまま受けていたように感じます。したがっ

て面接や筆記試験に対して本格的に動き出したのは4月。周りと比べてとても遅いです。それからは試験や面接に何度も落とされ、自分は社会に認められてないんだな、と落ち込む日々が続きました。しかしここで諦めてはいけません！ここで諦めたら何も進まないからです。なぜ自分は落ちたのか「敗因を探る」と共に、「自己分析」を改めてやってみること、そして「気晴らし」。この3点は就職活動が続けるにあたってとても重要だと思います。

就職氷河期で大変だと思いますが、藤井ゼミでこれまで鍛えてきた2・3年生なら絶対に乗り越えられると思います。就職活動は大変ですが、自分自身やたくさんの企業を知ることができる貴重な時間です。人生に一度しかない就職活動を楽しんでほしいと思います。そして終わったら、学生生活を思いっきり ENJOY して下さい。